

学籍番号	クラス <small>(2C,3C,...)</small>	出席番号	氏名

- この紙は配布物です、どうぞ、お持ち帰りください。試験の前の復習に使うでしょうから、まとめておくとよいでしょう。
- 確認テストは、EL のコースに設定されています。授業の終わりごろに有効になります。この紙にある問題が確認テストにそのまま出るわけではありませんが、似たような方向のものが出ます。
- 感想、質問等はポータルのアンケートコーナーへどうぞ。

- 
1. イーサネットでは、データのかたまりを (1) と呼ぶ。
  2. イーサネットにおける住所は (2) アドレスと呼ばれていて、大きさは 48 ビットである。ちなみに IPv4 アドレスが 32 ビット、IPv6 アドレスが 128 ビットである。
  3. 接続の形状による分類として
    - (a) バス型 (10Base5, 10Base2)
    - (b) リング型 (Token Ring, FDDI)
    - (c) スター型 (10Base-T ~)
  4. 一斉に通信すると混信するので、一台だけが通信できるように調停する。そのためのプロトコルが (3) である。(余段だが、無線ネットワーク (ハワイのアロハネット) がアイデアの大元と言われている、無線なので、そもそも全員に聞こえているわけですね)。
  5. ブロードキャストの際のイーサネットフレームの宛先は (4) (:くぎりの 16 進数表記) である。
  6. 全機器に通信が届くというブロードキャストの性質の応用として、IP アドレスから MAC アドレスを探索する (5) がある。
  7. ブロードキャストによる一斉通信を応用した例
    - (a) (6) (IP アドレスから MAC アドレスを探索)
    - (b) RARP (MAC アドレスから IP アドレスを探索)
    - (c) (7) DHCP (ネットワークの自動設定)
    - (d) Windows のマイネットワークなど